



写真・市谷 健「日焼け六人衆」

娘にまけずに

静岡のお客様係からおたよりをもらいました。

——会社に勤めたことはなく、下の娘が三歳の時にはじめてたダスキンが唯一の経験です。子育てOKで、病気がちの母も看ることができて、いい仕事と思って続けてきました。

その時の私と同年になった娘が宅配便のドライバーになりました。「お母さんの所へも、お届けものでーす、って行くかもよ」と笑っていました。

先日隣町で、偶然、娘が働いている姿を目にしました。箱を抱えてオフィスに入っていくところ。緑のキャップにユニフォームのブルゾンを美しく着こなしていました。笑顔で話しをしている姿がまぶしくて、声をかけそびれてしまいました。

その晩「さっそうとしてたね」と電話をすると、「いやだ、見たの」と照れていましたが、「お母さんについて行った頃を思い出して、明るい挨拶を心がけている」と言ってくれました。そういえば、小学生になっても「私も行く」とよく自転車で追いかけてきたものです。身軽に働く娘を見て、お客様から、「あら、今日はどうしたの」と言われるくらい私も変身したいと思っています。

明るくきびきびした娘さんの姿、きつと、おかあさんを見上げながら学んだのですね。

株式会社ダスキン会長

伊東英奇

no.494

喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

ふるさととの暮らし ⑤ 「だんだん畑」

樹木が自然に生え、深々とした雑木林に変貌してしまった、ふるさとのだんだん畑。畑仕事の日課となり、この夏、ある計画が開きます。



ツルハシで開墾

子どもの頃、綺麗に山頂まで並んだ、だんだん畑。昭和40年代からの急速な人口流出で、次第に放置されるようになりました。当時3千人だった人口が、今では5百人足らず。

だれも作物を作らなくなっただんだん畑を、二年ほど前から耕しています。裾から数えて一、二段目の畑は、雑草をカマで刈り、四ツ股グワで耕すと、やわらかな肥えた土が現れました。

三段目は親類の畑で10年ほど手つかずのまま。人間の背丈位のカヤ(ススキ)が一面に生えていま

す。ナタガマでたたきつけるようにして刈ると、ポリバケツのふた位にふくれあがった株がいくつも現れます。この根株が難儀で、思い切りツルハシをふりかぶり、固まりを1つとっただけでくたくたです。夜は風呂に入る元気もなくすぐ寝ます。夜中に背筋が痛みますが、翌日も畑へ。

石垣に張り付くイシタバの根も、隙間に深く潜むラミの根も取らねば…。次から次へと仕事が生まれ、休むわけにはいきません。

一斉に開く夏の百合

「なぜ、そこまでやるの?」

に何しに来たの?」創作より畑仕事にのめり込む僕に、故郷で部屋を貸してくれた姉が言います。「今日やらないと、来年はやる気も消えてるかもしれないじゃないか。一瞬一瞬が勝負なんだ!」と叫んでいました。

畑は横にも広げ今五段目。下にツワブキ、中段あたりにはこの地方原産の鹿の子百合、上の畑には椿の苗を植え…。みんなが見に来る自然農園にして、創作の合間に草取りを楽しむのが、僕の夢です(だんだん畑も僕の作品の一つだ、と思っただけですが)。

去年の秋に植えた鹿の子百合が、もうすぐ一斉に花開きます。

絵と文 版画家 中野洋一

版画家、陶彫家。鹿児島県生まれ。故郷の風物等をテーマに木版画や陶彫制作。1995年には朝日新聞日曜版のカトを連載。オランダ、国際版画ビエンナーレ展入選など国際的にも活躍。

食べたくなったらすぐ作れる 「杏仁豆腐」

アーモンドパウダーを使って作るのが、いわゆる一般的な杏仁豆腐ですが、今回はアーモンドエッセンスを入れて、あっという間に作ります。これがなかなか本物の味！新鮮な果物などトッピングにこだわれば、いつもの杏仁豆腐がグッと豪華。デザート定番メニューが増えると嬉しいですね！



お料理研究家 こいけりえ

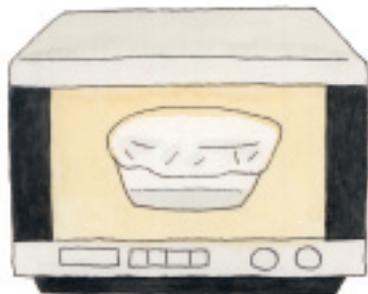
おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



◎作り方(4人分)

耐熱容器に水140ml、砂糖40g、粉ゼラチン10gを入れて混ぜ合わせる。ラップをかけて電子レンジで1〜1分20秒くらい温めて溶かし、もう一度混ぜ合わせる。



ゼラチンを温めて溶かす
1分〜1分20秒

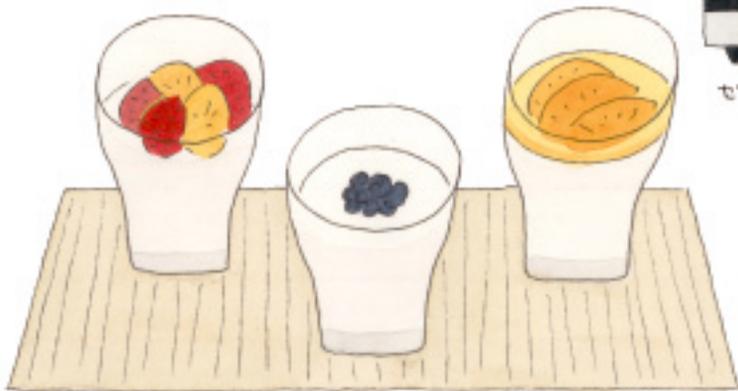


お菓子の材料
売場にあります

その中に牛乳300ml、生クリーム100mlを入れて、さらに混ぜ合わせる。生クリームを入れるとトロリとした舌ざわりになります。最後にアーモンドエッセンス小さじ1を入れて混ぜ合わせる。ガラスの器4つに均等に流し入れて冷蔵庫で1時間半くらい冷やして出来上がり。

◎トッピング3種

- ・ オレンジジュース20mlをかけて、その上に皮をむきカットしたオレンジをのせる一品も爽やかでよいものです。
- ・ ブルーベリーやイチゴなど、お好みのジャムをのせるだけでも、杏仁豆腐の白の色が映えてオシャレです。
- ・ イチゴ、パイナップル、ピーチなどお好みのフルーツや季節のフルーツを小さくカットして彩りよく盛り付ける。



トッピング3種、杏仁豆腐もよくおいえます

みてもらおう！



「かわいいんですよおお…」
京都市 大平原由紀子

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。

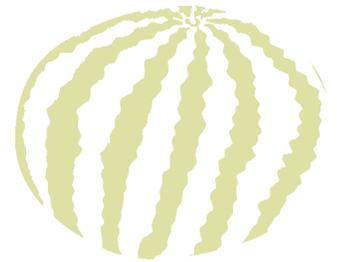


「キミに捧げるぜい！」
神奈川県二宮町 小笠原陶子



「ん、なんか言った？」
香川県丸亀市 内海香代子

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしてます！
(詳細は7ページ)



近所のおばちゃんから
作家さんまで、
自然と人が
集まるギャラリーー

単線の秩父鉄道の近く、昔ながらの商店街の横路を入るとパツと目に入る白い建物。引き戸を開けると、和服姿の店主、逸見さんと、ご近所さんが談笑をしていた。古いけど新しい感じのカフェギャラリーーである。

白い壁と天井、床は無垢の木。特に目をひくのが、逸見さんも一目惚れしたというモールガラス。

「出来ることは自分でやりました」3ヶ月間かかったという改築の写真を見せられビックリ！昔々は駄菓子屋で、化粧

自分にしか出来ない色をだしたい

品店などをへて、やがて使われなくなった家を再生したという。

「家具は骨董やもらいもので、椅子は都内のカフェから譲り受けたんです」お客さんやご近所さんに出す、お茶や自慢の香り高いコーヒー、このカップも骨董品で一つ一つ違い楽しみながら飲める。

西瓜堂のお客さんは20代から90代。

「ウチはすぐそこ。歩いて5分！」というご近所さんもいれば、観光で来た時にフラッと入ってくる方もいる。ギャラリーー



カフェギャラリーー西瓜堂

秩父銘仙や夜祭りで有名な歴史ある町、秩父。軒の低いレトロな街並みに、白壁とモールガラスがおしゃれなカフェがある。1年かけて探した古い民家を自力で改装した逸見貴さんをお訪ねした。



ーも絵や写真、ガラスや服の作家さんなど様々な方の作品を展示していて、今年の初めには店内で、きもの市を開催。時にはハーブ奏者など様々なミュージシャンのライブ演奏も、というから驚き。うかがった日は秩父の写真家さんの展示で、実は逸見さんの高校の先輩のお父さん。人づきあいの広さも逸見さんの人柄からくるのでしょう。

自分にしか

出来ないことを

かたちにしていきたい

「樹齢450年の木があるんです」逸見さんの実家は明治中期に建った古い大きな家。古色蒼然の世界に親しんで育った。

大学ではグラフィックデザインを専攻。お花や染色も勉強して、和装小物の卸や服飾雑貨の企画販売をしたが、もつと人とかかわる仕事をしたいという思いが生まれ、ヘルパーの資格をとり故郷に戻ったのが30歳。

帰郷した秩父で逸見さんは『銘仙』と出会う。明治時代に作られ、大正時代の文明開化と共に爆発的に流行り、全国に誇った秩父の絹織物である。

カフェにもいろいろあるけれど

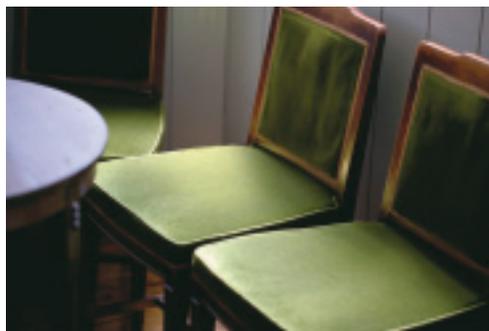
モダンな柄で大正ロマンを感じさせるハイカラな銘仙に魅せられ、染色の技術や技法を5年かけて勉強した。

のめりこんだ銘仙の柄にはスイカ、ギャラリーには西瓜堂と名付けた。

どうしてスイカなんです？と聞いてみると、「スイカが大好きというわけではないんですが」逸見さんが小学3年生から、憧れていた砂漠の街に行つたのは20歳の夏休み。

「ウルムチから蘭州へのシルクロードの旅です。街の活力と生活の豊かさに圧倒され、露店で売られているスイカを食べた時、なぜか素直に自分はやりたいことをしていこうと思えたんです。昔から絹・シルクには縁があったのかも」と笑う逸見さん。お店の常連さんが「次は嫁さんを」と応援しているほのぼのカフェでした。

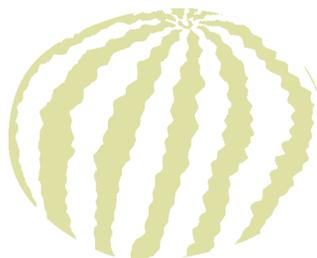
逸見さんが、秩父銘仙の手法で染めた浴衣地。



イスに座ると、後ろから光が差し込み、いい気持ち。テーブルやグラス、カップは骨董品で見るだけで楽しい！



土地の写真家の作品展。「ガケンどこ、嫁さんじゃない？」「そうそう若いね！」



ほ



ほ



え



み



の



ひ



ろ



ば



父

愛知県東浦町 水谷美恵子

高齢ですが両親は健在。でも母が在宅介護を受けているので、リハビリに付き添うため、週1、2回、様子を見がてら実家に行きます。老いた二人は力を合わせ、言葉を交わしながら毎日懸命に生きています。

私が行くと「来てくれると一日ラクが出来る」そう言つて父は素直に喜んでくれます。子供の頃から最近まで、仕事人間だった父とは話すこともありませんでした。母の身体が不自由になった今、父娘の関係を取り戻すような時間を、神様がくれたと思つて大事にしています。帰る頃になると、父は私に「もう用は済んだから、暗くなる前に帰つていけ」と気遣つてくれます。50過ぎのいいおばさんなのに、この家では私はいつまでも子供のままです。

——なごみ（帰る道）——

娘のことば



東京都東村山市 小俣紀子

娘3歳半、好奇心旺盛。見よう見まねで用具を手に、外で掃除をしていた時、ご近所の方が「あぐら、えらいのね〜」。当時、地球儀に興味があった娘は「うん、地球をお掃除している」と答えた。

幼稚園に入る時、見学に行き、先生が質問。「お父さんはどんなお仕事をしているの?」「ほこりの運転手〜」と娘は答えた。入園の予行練習で、「パパは日本中どんな車も運転できる、誇りを持った運転手なのよ」と娘に話して聞かせていたので。

娘を自転車の後ろに乗せてペダルも軽く走るママチャリ。バス停近くで、「ママ、ママ、白バイが一匹行つたよ!」と大きな娘の声。バス停に居た人も、私も思わず「クスッ」。

白バイさんには悪いけど、カワイイと思つた。思いつく作つてくれた娘は、今35歳です。

——思い出す姿は。歳半。分かります——



太陽

大阪府大東市 藤本洋子

『太陽は何色?』と保育園で男の先生に質問した息子。そのナゾ解きは両者引き分けとのこと。次のときは、息子が先生にうれしそうに報告。「今日、太陽2つ見つけたん!」

「えっ! 太陽2つ見つけたん? どこにあるの?」先生が聞き返すと、息子は、「あつちやろ〜。ほら、こつちにも!」指をさして教えていたのは、本物の太陽と、スベリ台に反射して写っている太陽。「あつちの太陽は赤色で、こつちの太陽は黄色」と言い切る息子に、今回の対決は先生が降参したそうです。後で先生から聞かされて、発想の息子らしさに和まされました。

——わが家のトビックスでした(母)

草取り



埼玉県杉戸町 高木克代

突然の夕立とひどい暑さ、雑草取りは戦争だ。取つても取つても生える生命力。植えている野菜を数えると、ナス、キュウリ、トマト...と、何10種類もある。自給自足とは聞こえがいいが、年をとると一寸しんどい。生前、母から、

「あのな、大どりより小どり。時間のある時に少しでも仕事をする。一度にやろうとすると大変なんだ。一日延びると千日延びる」といつ話に教え込まれたのを思い出し、やらなきゃ、進まない!と汗を拭きふき草取りをしていると、夜勤明けで帰ってきた息子が、「ばあちゃん、暑いからオレがやるよ」と優しい一言。でも、疲れた息子に全てまかせるとはいかないので2人で草取りをした。ふと聞くとお隣さんから親子の笑い声がする。

「作業は休みなしだもんな」と思わず愚痴ると、「隣の芝生は良く見えるんだよ。人を羨むより健康で働けることが一番!」と息子。いつの間にか親を説教する年になったのやら。トホホ。

——ポジティブ——

自らを偽るな
 自分の本当の姿が、
 わかってもらえない事はさびしい。
 「そんなら、もっと悪くなつてやろう」と
 腹を立てる事は愚かである。
 「なにか誤解された点が自分にもなかったか？」
 と反省し、
 益々自らの行ないを正しくする事だ。
 たゞ誤解はとけなくても、
 自らを偽らないでいる事は誇りである。

鈴木清一

「あ、波が！ ちょっと、きんちよーするね」



千葉県柏市 藤木典子

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、
 現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。
 紙面やホームページでご紹介させていただいた原
 稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
 〒163-0223
 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
 新宿住友ビル23階(私書箱47号)
 ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
 電話 03(5909)6703
 e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

無料 おそうじ相談 実施中!
 ダスキンコールセンター
 平日の9:00~17:00
 0120-100-100

- 2ページの中野洋一さんのアトリエ
 〒896-1301 鹿児島県薩摩川内市鹿島町蘭牟田2131-203
 電話: 09969-4-2763
- 4-5ページの逸見貴さんの「西瓜堂」
 〒368-0042 埼玉県秩父市東町10-7
 電話: 0494-22-0084 営業時間: 11:00~19:00(火曜定休)
 ホームページ: <http://suika-do.com/>

あなたのお便りや
 写真をお寄せください



近所のおばちゃん

横浜市 吉田洋子

40歳を過ぎ子供二人が小学生となり、私自身が
 いろんな子供達と接する機会が増えました。
 そして、ふと思いつくのは自分が小学生だつ
 た頃の近所のおばちゃん達。恐い人もいたけれ
 ど、優しく接してくれたおばちゃん達の事を、
 今でもちゃんと覚えてます。いつも笑顔で声
 をかけてくれた人。回覧板などを届けると「偉
 いね」ってお菓子をくれた人。母の日のプレゼン
 トを買うのにお金が足りなかった時、おまけして
 くれたお店の人。いろんな優しさに触れました。
 近所の子供達がいつか大人になったとき「そ
 うだ、いいおばちゃんがいたな」と思い出しても
 らえるような、そんな近所のおばちゃんに私も
 なりたいです。
 —あつたかいなあ。



お月さんになったじーじ

鳥根県出雲市 勝部ヒロ子

夫は、4年余りの闘病生活で、退院できた事
 もあったが、2年前、67年の生涯を終えた。
 葬式の時、涙の止まらない私を心配したのが、
 3才の孫がそばへ来てくれた。
 「ばば、じーじがお月さんになったから、泣いと
 るの？」周りの大人たちは口をそろえて
 「お月さんでしょう」とすると孫は、
 「違うよ。お月さんだよ！」と言い通していた。
 数日して少し落ち着いた頃、孫に、
 「どうしてお月さんなの？」と聞いたら、
 「じーじは大きいからお月さんだ。お星さん
 は小さいのがいっぱいあるから、どの星かわか
 らんがね」とのこと。胸が詰まる思いでした。
 これから先、月と語る夜が続くのかな。
 —月の安らかなまなざしを覚えています。

♡は〜とふるボイス③♡

〜銀メダルの原点を想う〜

バンクーバーパラリンピックはアイススレッジホッケー*
 日本代表としてメダルを懸けた4度目の挑戦でした。
 迎えた準決勝、カナダ戦は誰もが役割をまっとうし、
 15人が力のすべてを出し尽くした素晴らしい戦い。
 15年間のホッケー人生の集大成と言える試合で掴
 んだ銀メダル。その原点には9年前にダスキン障害
 者リーダー育成海外研修派遣生として、ホッケー王
 国カナダで学んだ経験や人との出会いが息づいて
 います。多くの方にいただいた喜びのタネを財産に、
 今度は僕が次の世代に向けてタネをまきたいです。

●北海道旭川市 永瀬充

*下肢障害の人もアイスホッケーを
 行えるよう改良されたスポーツ。



このコーナーについては、
 広げよう愛の輪運動基金まで。

☎06-6821-5270 HP (<http://www.ainowa.jp/>)



みんなで使って
素敵だね！



あなたの時にも
ベビーベッドを
レンタルしたのよ

あ～
あ～

詳しくはwebで
「ダスキンのエコ」
を検索してネ。



ダスキンレンタルオールは、ベビー、トラベル、イベント、介護用品などのレンタル事業を展開しています。一人ひとりが購入するのではなく、一つのものをみんなで大切に使うことで捨てるものを少なくし、資源を有効活用しています。

(ダスキン環境シンボルマーク)



身近に、未来に、エコのタネまき。

お楽しみクイズ

買わずに借りることを
何と言うでしょう？



正解者の中から30名様に
「キッチンきれいセット」を
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

◆ハガキに

- ①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別
- ⑦電話番号⑧現在ご利用のダスキンの店名をご記入の上、下記あて先までお送りください。

◆締め切り 平成22年9月3日(金)当日消印有効

◆ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

◆当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成22年9月下旬お届け予定)

◆あて先 〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル23階(私書箱47号)

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係

◆応募に関するお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

第492号のクイズの答えは「エアコン」でした。

ダスキンのお客様係募集中!!

詳しくはwebで

お客様係

検索

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



携帯からも
アクセス

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集部

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp